

学校だより

あさなさとのかぜ

発行者：岩倉市立曾野小学校 校長 松岡由里子 平成20年12月22日 No. 2

2学期をふりかえって

残暑厳しい夏休みの後半でしたが、全員そろって無事2学期を迎えることができました。2学期には9月の運動会から11月の学芸会に至るまで大きな行事がいくつかありましたが、子どもたちは一生懸命練習し、ふだんの学習の成果を見事に発表することができました。保護者の方々の行事に向けてのご協力、子どもたちへの激励には心より感謝しています。

行事だけでなく、子どもたちは日々の学習にも落ち着いて取り組むことができました。学期の途中から、朝のスピーチなど言語力を高める活動を取り入れてきましたが、これらの活動や授業を通して、自分の考えを発表する力や人の発言を聞く力が伸びてきたと感じています。子どもたちにとって、とても実りの多い学期だったのではないのでしょうか。以下、活動の一端を振り返ってみたいと思います。



「勝利には、1%の才能と99%の努力！」 ～運動会～

とてもさわやかな秋晴れのもと、子どもたちの歓声が運動場に響きました。今年の運動会は「勝利には、1%の才能と99%の努力！」をスローガンに開催され、それにふさわしい頑張り子どもたちは随所で見せてくれました。競技では最後まであきらめない姿勢を、音遊・体操等では見る人の心に訴えたいという意気込みを十分に感じ取ることができました。ところで、本校の運動会は、1年生から6年生までが縦割りで集団を作り、5つの色に分かれて競います。ですから、自分の色を勝利に導くために学年を越えて声援を送ったり、上級



生が競技に向かう下級生に優しく声をかけたりといった光景を目にすることができました。本校に根付いているこの伝統は、今後もしっかり守り育てていきたいと思っています。

実り多き校外での一日 ～秋の遠足～

朝から曇り空で天候が心配されましたが、子どもたちは元気にバスに乗り込んでいきました。出かける場所は様々でしたが、子どもたちは貴重な体験や見学をしたようです。帰着後、「疲れた～」と言いながらも、口々に楽しかった思い出を語ってくれました。子どもたちは経験することによって成長していきます。実際に今回の経験を、後に行われた学芸会や総合的な学習で生かしていた学年もいくつかありました。また、5年生は名古屋で班別行動を実施しましたが、不安を抱えながらも無事に成し遂げることができました。きっと自信を持って、来年の修学旅行では奈良・京都の散策ができることと思います。



心に響く演技を！

どの学年の演技も大変見応えがありました。今年度は練習の様子を外部の講師に観ていただき指導をうけたこともあって、子どもたちはより質の高いものを目指して努力しました。当日、低学年・中学年は堂々と元気のよい演劇を、高学年に至っては台詞や表情、動きで心に訴える演劇を見せてくれました。演技を終えた子どもたちは、自分たちが創り出した「芸術」にとっても満足していたようです。緊張感に包まれた中での頑張り、きっと子どもたちに自信を持たせてくれることでしょう。保護者の皆様は、どんな感想をお持ちになったでしょうか。

～学芸会～



伝えよう自分の思いを！聴こう人の考えを！

～朝の言語活動～

話す・聞く(聴く)・読む・書く。このような「言葉の力」を高めていくことが昨今の課題といわれています。そこで、朝の短い時間を利用して読書、スピーチ、詩の群読等を日替わりで行っています。スピーチでは取り上げたい話題を題材にして、60～90秒で考えを発表し、その後クラス全体で話し合いを行っています。また、群読では詩だけでなく古典や漢文なども取り上げ、子どもたちの元気な声が廊下にも響いています。